

2018年7月23日  
SINKA株式会社

## 世界初! イメージを立体化してプリントできる デスクトップサイズの立体イメージプリンター新発売

目の見えない人にも、視覚障がい者にも、新たな利便性やコミュニケーションを  
創出する世界初のユニバーサルデザイン対応プリンターです。

SINKA株式会社(所在地: 東京都中央区、代表取締役社長: 陳剛)は、世界初の機能である点字やイメージを立体化してプリントできるデスクトップタイプのプリンター『EasyTactix®』を開発、7月より販売を開始いたしました。

『EasyTactix®』は、サーマルヘッドを使用し、専用紙(立体シート)を裏面より加熱することで、データの階調に応じた立体プリントを可能としています。点字をはじめ、写真や図形などのイメージを触って感じる、“これまでになかった新たな刺激を与えるドキュメント”をカンタンに作成できます。さらに付属のアドインソフトにより、Microsoft WordやExcelで、漢字変換をするような手軽さでテキストから点字へと変換でき、点字を含む資料や案内図などを誰でもカンタンに作成できるようになります。従来の点字プリンターのように機械式でないため、稼働音は家庭用プリンター以下で図書館などの静穏な場所での使用にも適しています。

Imaging Beyond Imagination.  
想像を超えた、イメージが生まれる



EasyTactix®

## EasyTactix® のプリント原理

### (1) 熱により膨らむ感熱発泡紙(当社製品名: 立体シート)

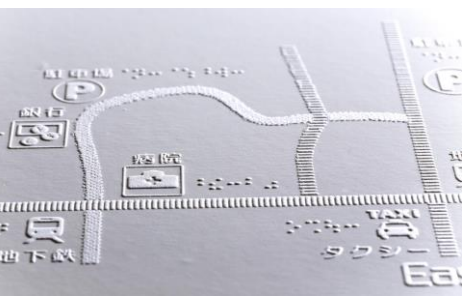
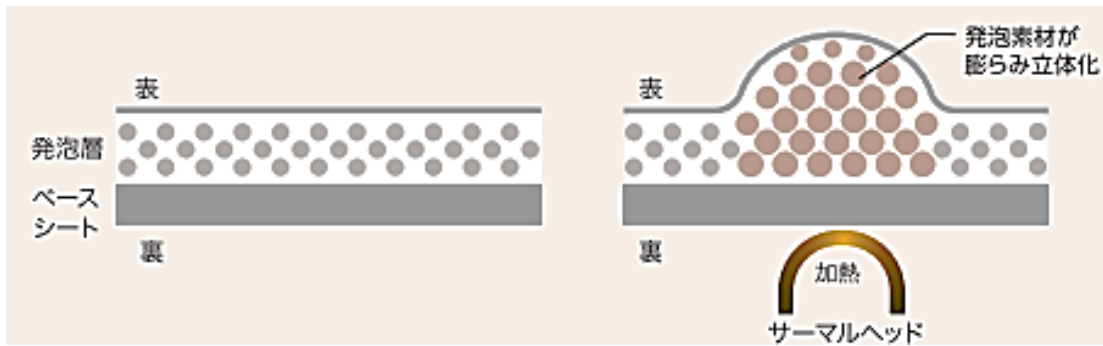
紙素材の上に、熱発泡性の素材を原料としたインクを塗工した物。当立体シートに裏側から、立体にしたい個所を次々と加熱することにより、立体イメージを形成することができる。当サーマルプリントヘッド方式に最適な発泡特性を持った立体シートを開発。

裏面から摂氏約200°Cの熱エネルギーの印加により発泡し、安定的に発泡を維持できる触図感覚の良い表面平滑性を出せるコート剤および用紙を開発。

### (2) サーマルプリントヘッド

家庭用FAXやバーコードプリンタなどに広く応用されている技術であるが、分解能300DPI(発熱体が1インチ当たり300個の密度で作られている)ヘッドを採用し、精細に加熱制御できるよう次の技術開発に成功。裏面から加熱し、立体シートの表面の立体形成を阻害しないように用紙走行を制御し発泡させるために必要な熱エネルギーを連続印加する発熱体の加熱制御技術を開発。

### ■ 熱により膨らむ発泡の構造



2018年7月23日  
SINKA株式会社

## EasyTactix<sup>®</sup> 作動動画と出力サンプルスライドショー

### ■ 作動動画(用紙が膨らむ瞬間映像)

<https://www.youtube.com/watch?v=f8PBRrV0-pc>

### ■ 出力サンプルスライドショー

<https://www.youtube.com/watch?v=YIIDL1MTEnM&>

### ■ 製品説明Webサイト

<http://www.sinka.co.jp/#/product/product>



## EasyTactix<sup>®</sup> 新発売キャンペーンを実施中

視覚障がい者関連施設(盲学校、福祉施設、公共施設など)を対象に、当機の利便をより早くご活用いただくため、当社では9月30日までの期間限定にて、「イージータクティクス発売記念キャンペーン」を実施しています。キャンペーンのお問合せは、製品に関するお問合せと併せ、下記へ。

SINKA株式会社  
デバイス事業部 営業・マーケティング部  
高梨 晴彦

〒104-0044  
東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー32F  
TEL:03-3549-2270 FAX:03-3547-7270  
Mail: [h-takanashi@sinka.co.jp](mailto:h-takanashi@sinka.co.jp)  
WEB: <http://www.sinka.co.jp/>